



ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 137

★今回は、ちょっと趣向を変えて「検索のヒント」を見てみましょう。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 堀越二郎が書いたすべての文章を読みたい。

答) まず、堀越二郎の著作本を探します。

図書 → 著者名等から調べる → 堀越二郎 → 3件

『零戦 その誕生と栄光の記録』(538.71/H89 閉架図書)

『零戦 日本海軍航空小史』(538.71/H89 閉架図書)

しかし、この調べ方では著作以外の「他の本に書いた記事」はヒットしません。

そこで、「全資料検索」を使います。

全資料 → 堀越二郎 → 48件

『往時茫茫 第1巻』(509/Mi63 閉架図書)

『飛行日本 第19巻第1号』(538/H57/19-1 閉架雑誌)

このように検索すると、図書、雑誌に関わらず、目次に書かれている名前も検索対象になります。

昭和館検索システムでは、タイトルや著者名のほかに目次までも検索することができ、上記のような調べ方もできます。ぜひご活用ください。

※堀越二郎(1903-1982)・・・戦前から現在の三菱重工業にて零戦などの設計にたずさわり、戦後においても民間航空機開発、大学教授として活躍した。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

『終戦記念日』と全国戦没者追悼式

第二次世界大戦の終結66年目を迎えた終戦記念日の8月15日、今年も東京・日本武道館で「全国戦没者追悼式」が執り行われた。なぜ「終戦記念日」は8月15日なのだろうか。

昭和20年7月26日、絶望的な戦況のなか、日本に降伏を勧告する『ポツダム宣言』が連合国より発せられた。8月に入り広島・長崎へ原子爆弾が投下された。8月10日、御前会議で第1回「御聖断」、14日、第2回「御聖断」で日本の降伏が確定し、連合各国へ降伏を通告。そして『大東亜戦争終結の詔書』が起草された。その日付は昭和20年8月14日。この日の夜、昭和天皇による詔書の朗読が録音され、翌15日正午、ラジオを通して放送された。

多くの日本人はこの玉音放送で敗戦(停戦)を知り、この日に戦争が終わったと理解してきた。しかし、この放送が届かなかった地域や戦闘の続いている大東亜共栄圏としていた諸国で、巨大な軍事機構が急停止をすることはできない。本当にこの日が戦争の終結日なのか。

9月2日、東京湾上の米戦艦「ミズーリ」号で降伏文書調印式が行われた。さらに6年後の1951年(昭和26年)9月8日、サンフランシスコ講和条約を締結、翌1952年(昭和27年)4月28日、条約発効で日本は独立を回復した。

毎年8月15日に政府主催で行われる戦没者を悼む式典「全国戦没者追悼式」は『平和条約の発効による独立に際し、国をあげて戦没者を追悼するため』に行なうこととして、1952年(昭和27年)4月8日、閣議決定された。同5月2日、天皇皇后両陛下のご臨席のもと東京・新宿御苑で第1回が実施された。2回目は1959年(昭和34年)3月28日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑でその竣工式に併せて実施、3回目は1963年(昭和38年)8月15日に日比谷公会堂で行われた。そして、この日に先立つ5月14日、戦後18年を経て「全国戦没者追悼式実施要綱」が正式に閣議決定された。翌1964年(昭和39年)は8月15日に靖国神社で、1965年(昭和40年)からは毎年8月15日に日本武道館での実施となった。

その後、政府は1982年(昭和57年)4月13日に『先の大戦においてなくなられた方々を追悼し平和を祈念するため』8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」とした。

「終戦の日」は戦争で犠牲になった方々へ慰霊の誠をささげ、戦争の悲惨さと平和の尊さをあらためて確認する日、私たちはこれからも戦争の真実を探求していかなければならない。

◎参考文献:「援護50年史」(369.39/E61)開架書棚

「資料で読む世界の8月15日」(210.75/Ka97)開架書棚

「戦後日本のメディア・イベント」(361.45/Ts36)開架書棚

「八月十五日の神話」(070/Sa85)閉架書庫

「東アジアの終戦記念日」(220/Sa85)閉架書庫



※新宿御苑で行われた「第1回戦歿者慰霊祭」の様子は、5階映像・音響室にて「読売国際ニュース」No.164でご覧になれます。

—図書室から—

節電の夏もなんとか半ばまでたどり着きました。もう少しの辛抱です。早い秋の到来を期待して心穏やかに、図書と向き合ってみてはいかがでしょうか。“心頭を滅却すれば火もまた涼し”

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 137

2011年8月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1